



イメージ画像

公演「わかったさんのクッキー」
関連プログラム
いつもとちょっとちがう自分
になれる展覧会

ちがったさんの
ラッキー

2016年8月11日(木・祝) →
2016年9月4日(日)

展覧会名	ちがったさんのラッキー
会期	2016年8月11日(木・祝) → 9月4日(日) 開場時間 / 13時~16時 休場日 / 8/22(月)、29(月)
会場	金沢21世紀美術館プロジェクト工房
料金	入場無料
主催	金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]
お問い合わせ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2801(学芸課)

本資料に関するお問い合わせ

金沢21世紀美術館
広報担当: 川守(広報室 / 交流課)、事業担当: 吉備(学芸課)、川守
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



展覧会について

見て、手にして、身につけて、どんな自分になれるかな？
「ちがったさんのラッキー」展の特徴

1. 収蔵作家2名が関わる公演に関連して実施する展覧会

9月にシアター21で公演する「わかったさんのクッキー」で台本と演出を担う岡田利規(演劇作家・小説家・チェルフィッチュ主宰)と、美術を担当する金氏徹平(アーティスト)は当館の収蔵作家です。ユニークな身体表現とテキストで人気を集める岡田と、国内外で数多くの展覧会を催す人気若手・現代美術家の金氏がタッグを組み、観劇だけにとどまらない、複合的な体験の場を創出します。

2. 「ちがったさんのラッキー」

展覧会タイトルを命名した金氏曰く、本展は「ちがった役割を演じることで、ちがった世界が想像できるかもしれない」場所です。会場には金氏が集めたさまざまな素材と、それらを用いながら「この世の物をこの世の物ではない使い方」を考えて撮影した写真、そして岡田がそれらの写真を見て想像したストーリーが展示されます。来場者は素材・写真・文章を見て、素材を手に取り、組み合わせを楽しんだり、写真の世界を真似てみたり、そして文章から想像した世界を物の組み合わせで表現することができます。

3. 鑑賞体験をサポートするコミュニケーター「ちがったーズ」

子どもから大人までを対象とする30名程度を公募し、「ちがったーズ」を結成します。このメンバーは金氏とのワークショップを通じて、舞台美術を彷彿とさせるさまざまな素材があふれる空間で、ちがった役割を演じる楽しさを体得します。そして展覧会場では来場者の素材選びや組み合わせのサポート、出来上がった姿かたちについて一緒に話し合うなど、物と人の架け橋となります。

これからの予定

展覧会コミュニケーター「ちがったーズ」活動説明会

[日時] 7月29日(金)13:00~14:00、7月31日(日)14:00~15:00

[会場] 金沢21世紀美術館 プロジェクト工房

ちがったーズ・ワークショップ

[講師] 金氏徹平

[日時] 8月2日(火)13:00~16:00、8月3日(水)10:00~16:00

[会場] 金沢21世紀美術館 プロジェクト工房

※8月3日(水)13:00より取材公開します。

ちがったさんのラッキー

[日時] 8月11日(木・祝)~9月4日(水) 開場時間 13:00~16:00 ※8月22日(月)、29日(月)は休場

[会場] 金沢21世紀美術館 プロジェクト工房

おいしいおかしいおしばい「わかったさんのクッキー」

原作:寺村輝夫、台本・演出:岡田利規、美術:金氏徹平、劇中歌作曲:前野健太

[日時] 9月3日(土)、4日(日)両日 15:00開演(開場30分前、上演時間は約60分)

[会場] 金沢21世紀美術館 シアター21

[料金] おとな2,500円、こども(4歳以上~高校生)1,000円、おやこ3,000円

アーティスト・トーク

[出演] 岡田利規、金氏徹平

[日時] 9月3日(土)17:00~18:00

[会場] 金沢21世紀美術館 シアター21

[入場料] 500円(ただし9/3か4の公演チケットをお持ちの方は無料)

[定員] 100名

※当日14:00より先着順に整理券を会場受付にて配布(公演チケットをお持ちの方も整理券が必要)

作家プロフィール

岡田利規 (OKADA Toshiki)

演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰。1973年 横浜生まれ、熊本在住。97年演劇カンパニーチェルフィッチュを旗揚げ。独特な言葉と身体性が評価され、現代を代表する演劇カンパニーとして国内外で高い注目を集める。05年『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。07年ベルギーのクステン・フェスティバル・デザール2007で海外進出を果たし、以降世界計70都市で上演。08年『わたしたちに許された特別な時間の終わり』第二回大江健三郎賞受賞。小説家としても注目を集める。16年より3年間ドイツ有数の劇場ミュンヘン・カンマーシュピーレでの演出を予定。KAAT神奈川芸術劇場とは11年より4作品『ゾウガメのソニックライフ』『現在地』『地面と床』『スーパープレミアムソフトWバナナリッチ』をチェルフィッチュとして発表。15年『わかったさんのクッキー』を岡田利規作品として初演。金沢21世紀美術館では、チェルフィッチュとして09年にパフォーマンス公演『記憶の部屋について』を上演。



© 宇嵩山貴久子

金氏徹平 (KANEUJI Teppei)

1978年京都府生まれ 京都府在住。2001年ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(ロンドン)留学。2003年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。プラスチック製品やキャラクターフィギュアなどのおもちゃ、雑誌の切り抜き、シールなど身の回りにあるものを素材に、コラージュ的手法で制作を行う。2009年横浜美術館で、同館での史上最年少個展作家となる「溶け出す都市、空白の森」など国内での発表のほか、海外での個展や企画展も多数。近年では、シンガポールビエンナーレ2011、エルミタージュ美術館での企画展「Mono No Aware. Beauty of Things. Japanese Contemporary Art」(2013-14)参加、北京での個展「Towering Something」(2013、ユーレンス現代美術センター)など。また、2011年『家電のように解り合えない』(作・演出:岡田利規、出演:森山開次)、2013年、ARICA+ 金氏徹平『しあわせな日々』(あいちトリエンナーレ2013にて初演)にて舞台美術を手がける。金沢21世紀美術館では、2015年「われらの時代:ポスト工業化社会の美術」にて新作を含む32点の作品を展示した。丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(香川)にて「金氏徹平のメルカトル・メンブレン」(2016/7/17-11/6)を開催。



撮影: 梅住代

広報用画像

画像1~5を広報用にご提供致します。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。 Email: press@kanazawa21.jp

<使用条件>

※広報用画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを必ずご表示ください。
 ※トリミングはご遠慮ください。キャプション等の文字が画像にかぶらないよう、レイアウトにご配慮ください。
 ※情報確認のため、お手数ですが校正用原稿を広報室へお送りください。
 ※アーカイブの為、後日掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。
 以上、ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



イメージ画像
 四角い液体、メタリックなメモリー(パーティーのマボロシ) 2014 京都芸術センター
 出演: 日菜 撮影: 西光祐輔



イメージ画像